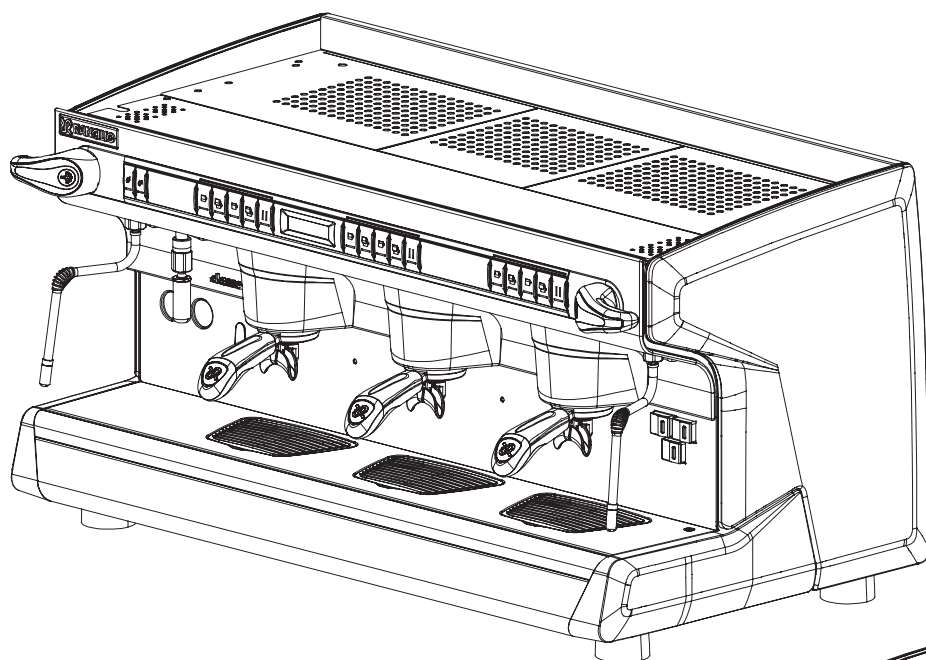
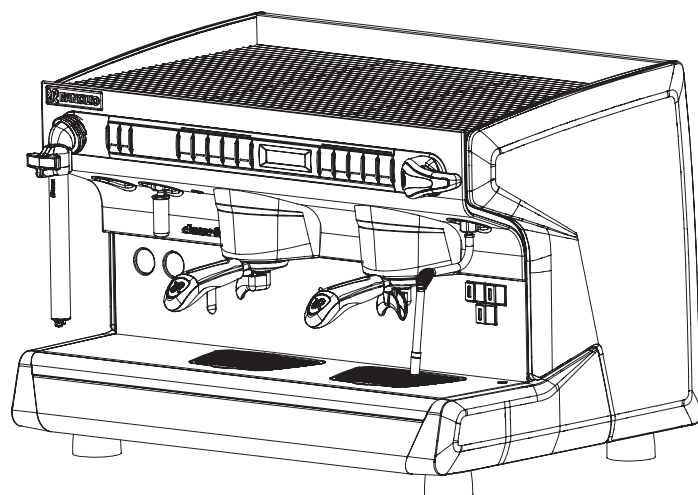




エスプレッソコーヒーマシン

CLASSE 9

取扱説明書



目次頁

安全上の注意事項	・P1～2
各部の名称	・P3 設置
方法	・P4 操作方法
立ち上げ手順	・P5～7
エスプレッソコーヒー抽出方法	・P5
コーヒー抽出量の設定	・P6
熱湯の給湯方法	・P6
湯量の設定	・P6
蒸気の取り出し方	・P7
アイ・スチーム使用方法	・P7
プログラム	・P8～10
バリスタ設定モード	・P8～10
・マシンの時刻などの設定が行えます。	
毎日の清掃	・P11～12
仕様	・P13
製品保証書	裏面に記載

このたびは、RANCILIO CLASSE 9 を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解していただいた上で正しくお使いいただき、いつでも取り出せる所に、保管しておいてください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。
表示内容は次の通りです。



警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。



警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

装置を電源に繋ぐ際には、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

コード内部が断線したまま使用を続けると、火災の危険性があります。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

マシンから水漏れ、蒸気漏れを確認した場合、マシンの電源をぬいて販売店へ連絡ください。

すすぎ中は抽出口やノズルに手を近づけないでください。

顔や手、または他人にスチームノズルを向けないでください。

火傷を負った場合、ただちに患部を冷やし、状態に応じて医師に相談してください。

熱い飲み物でやけどをする恐れがあります。

適切なドリンクの容器のみ使用してください。容器の破損及び、火傷の恐れがあります。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外に行わないでください。

廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼してください。

安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

注意

この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。

振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。

電源は設置場所から 1.5m 以内に準備してください。

屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。

高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。

機器の周辺は、およそ 10cm 以上の空間をあけて設置してください。

設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。

メーカー推奨の電源電圧でご使用ください。

メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。

給水に使用する水は、必ず浄水した水道水を使用してください。

ご使用の浄水器の使用期限を確認し、定期的に浄水フィルターを交換してください。

本機の上に物を置かないでください。

製品にもたれたり、乗ったりしないでください。

スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。

運転中、ホッパー内や可動部に手を入れないでください。

清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。

マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。”

排出口や排水管に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。

漏電遮断器は月に 1 回、動作確認してください。

クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。

使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。

洗浄剤をドリンクに混入させないでください。

営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。

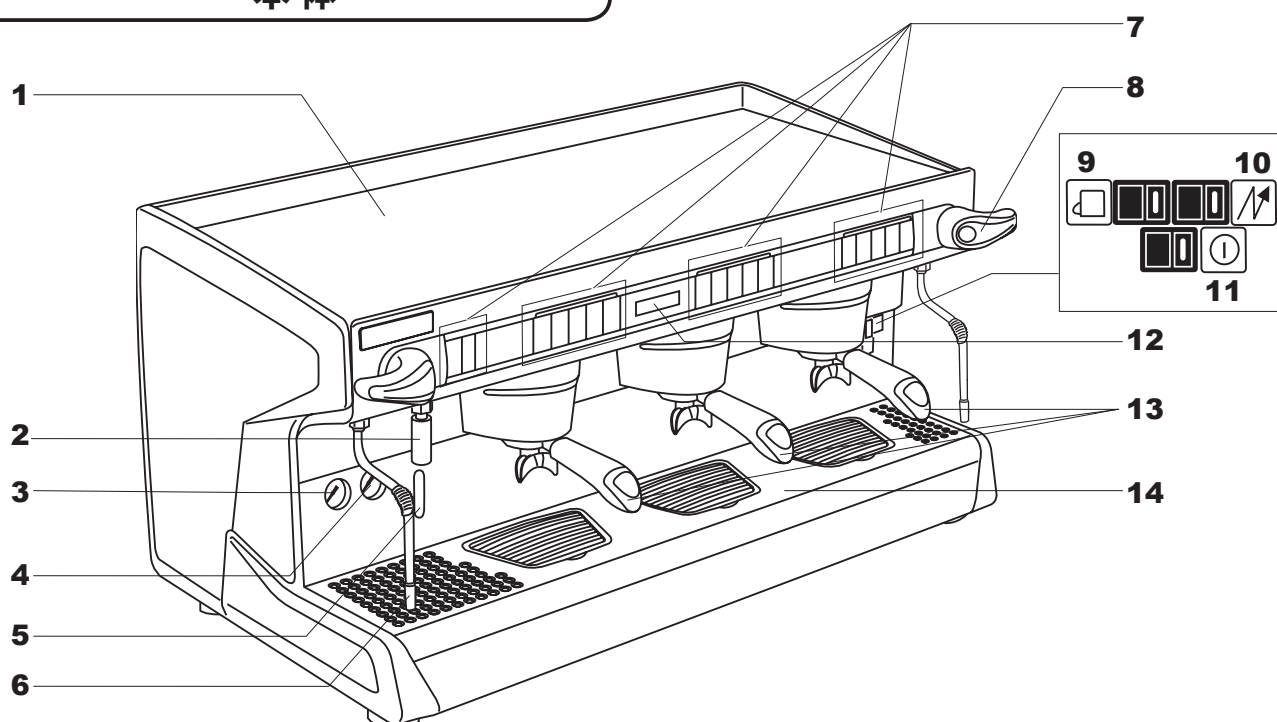
断水の時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めてください。

断水が発生した場合や長期間マシン(7 日間以上)使用しない状態が続いた場合、残留物が蓄積することがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。

設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。

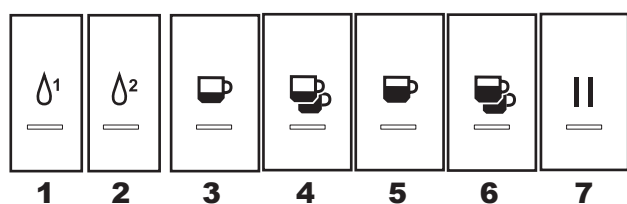
各部の名称

本体



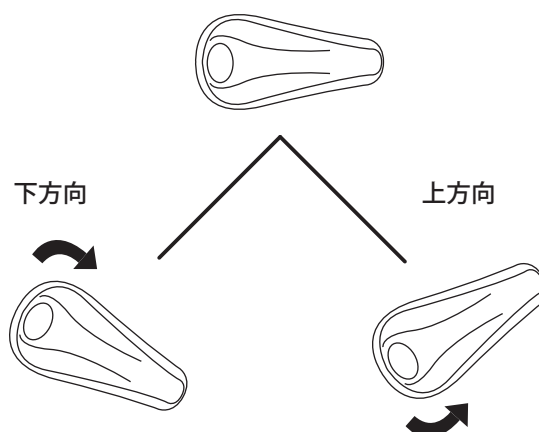
- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1 カップウォーマー | 6 スチームワンド（ノズル） | 11 電源スイッチ |
| 2 熱湯ノズル | 7 抽出ボタン | 12 ディスプレイパネル |
| 3 水圧計 | 8 スチームノブ | 13 フィルターホルダー |
| 4 スチームボイラー圧力計 | 9 カップウォーマースイッチ | 14 ドリフトトレイ |
| 5 水位計 | 10 ボイラースイッチ | |

抽出ボタン



抽出を行うときの呼び方	プログラム設定を行うときの呼び方
1 熱湯ボタン 1	
2 熱湯ボタン 2	
3 シングル 1 杯抽出ボタン	3 + ボタン
4 シングル 2 杯抽出ボタン	4 - ボタン
5 ダブル 1 杯抽出ボタン	5 ENTER ボタン
6 ダブル 2 杯抽出ボタン	6 ESC ボタン
7 手動抽出ボタン	

スチームノブ



スチームノブを下方向に回すとスチームの勢いを微調整する事ができます。

スチームノブを上方向に回すとスチームを出したまま固定する事ができます。

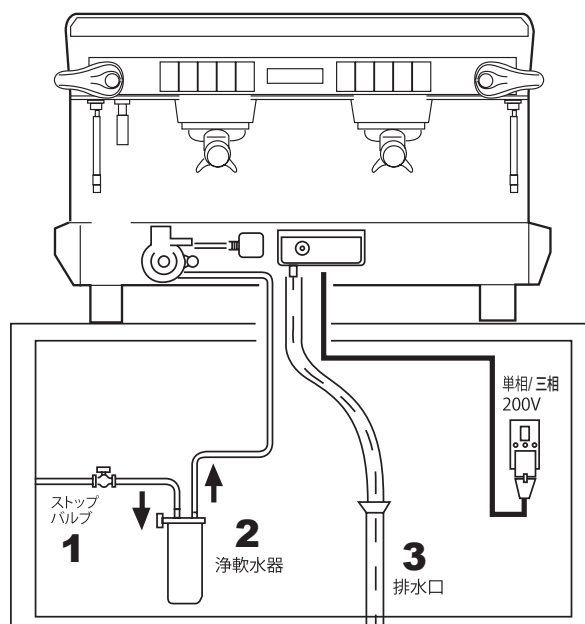
付属品チェック

下記のパーツが入っているか確認して下さい。（ ）内の数字は、3連用のパーツ数です。

- 一人用フィルターホルダー……………1 (1)
- 二人用フィルターホルダー……………2 (3)
- ブラインドフィルタ……………2 (3)
- タンパー……………1 (1)
- 給水用メッシュチューブ……………1 (1)
- メジャースプーン……………1 (1)
- 排水用ホース [1.5] ……………1 (1)
- ホースの留め金……………1 (1)
- 洗浄ブラシ……………1 (1)
- 接続ニップル……………1 (1)

設置例

- 1** 接続前に、ストップバルブより水を十分に流出させ、水道管内の異物を取り除いてください。
- 2** 浄軟水器の OUT 側を接続する前に浄軟水器に水を通してカートリッジ内の微粉を取り除いてください。
- 3** 排水ホースはできるだけ最短のものを選び、トラップが発生しないようにしてください。



※浄軟水器の設置スペースをご用意ください。

時刻設定

- 設置が完了して、電源を入れたら左側グループの+ボタン(P3 抽出ボタン参照)を LIGHTING という表示が出るまで長押ししてください。
- +ボタンを2回押してCLOCKを表示させ、ENTERボタンを押してください。

Date mode dd/mm/yy	Set date Sunday 01-01-62	Time mode 24h	Set time 20:40
- 日付の表示方法をアメリカ式とイギリス式で選ぶことができます。 - dd/mm/yy はイギリス式。 - mm/dd/yy はアメリカ式。 - dd/mm/yy は日 / 月 / 年。	- 日付設定を行う事ができます。 - 曜日、月、日、年の順で設定を行ってください。	時刻表示を 24h と 12h で選ぶ事ができます。	時刻設定を行えます。時間、分の順で設定してください。

上記の項目で変更したい項目を+、-ボタンを使い選択して、ENTERボタンを押してください。

変更可能箇所が点滅するので+ボタンと-ボタンを使って設定を行ってください。

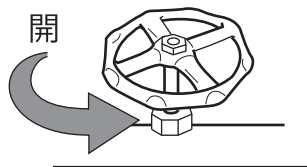
設定が完了しましたら ENTER ボタンを押して完了してください。

ESC ボタンを数回押してモニターの表示を Please select になるまで戻してください。

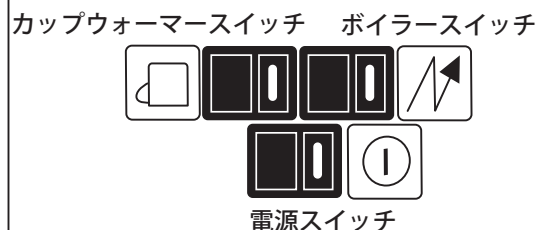
操作方法

立ち上げ手順

- 1 水道の元栓を開いてください。
- 2 電源スイッチを ON にしてください。



- 3 水位計が緑色に点灯したらボイラースイッチを ON にしてください。



エスプレッソコーヒー抽出方法

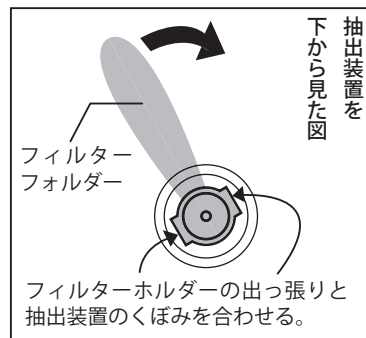
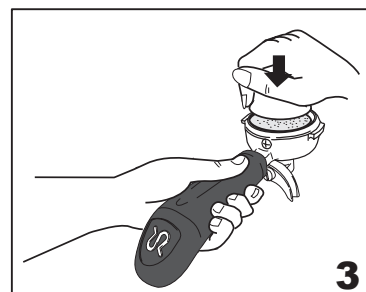
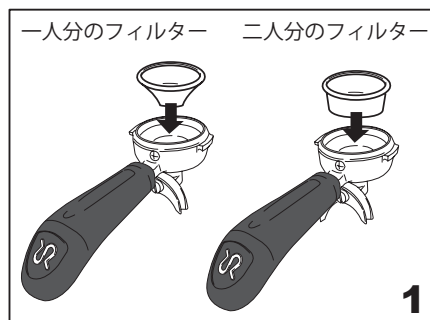
- 1 フィルターホルダーが冷たいときは抽出したコーヒーがぬるくなりますので、コーヒー抽出ボタンを押して熱湯だけを出し、フィルターホルダーをあらかじめ温めてください。
(フィルターはフィルターホルダーに付けておいてください。)

- 2 フィルターホルダーのフィルター内にコーヒー粉を入れてください。

- 3 タンパーでコーヒー粉を軽く押さえて平らにしてください。
フィルターのフチに付いた粉を手の平で拭き落としてください。

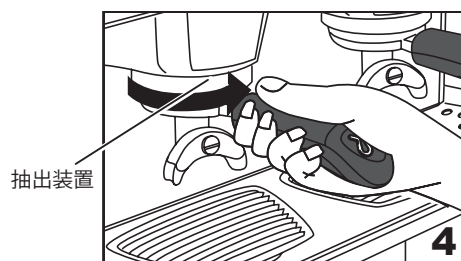
- 4 フィルターホルダーの出っ張りと抽出装置のくぼみを合わせて、反時計回りに回してフィルターホルダーを取り付けてください。

- 5 抽出口の下にカップを置き、お好みの抽出ボタンを押してください。



手動抽出ボタンを押すと自動では停止しないので、もう一度手動抽出ボタンを押して抽出を停止させてください。

- 6 設定された量のコーヒーが抽出されると、自動的に抽出が停止します。



コーヒー抽出量の設定

- 1 手動抽出ボタンのランプが点滅するまで手動抽出ボタンを長押ししてください。

⚠ 注意 | 手動抽出ボタン長押し中、湯が少し出るのでお気をつけください。

- 2 コーヒー粉を入れたフィルターホルダーを抽出装置にセットしてください。

- 3 抽出口の下にコーヒーカップを置いてください。

- 4 設定量を変更したい抽出ボタンを押してコーヒーを抽出してください。
コーヒーは出続けます。

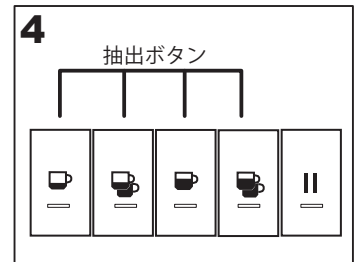
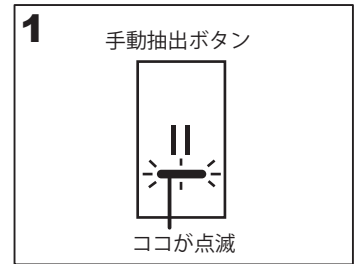
- 5 お好みの量まで抽出して、再度抽出ボタンを押してください。
抽出が止まり、変更した設定量が記憶されます。

- 6 最後に手動抽出ボタンを押し、抽出モードに戻ってください。

引き続き設定を行う場合は 4 の操作を行ってください。

※左端の抽出装置の設定をしますと、その他の抽出装置も同じ設定となります。

抽出装置の設定をそれぞれ異なる設定にする場合は必ず左端の抽出装置より設定してください。



熱湯の給湯方法

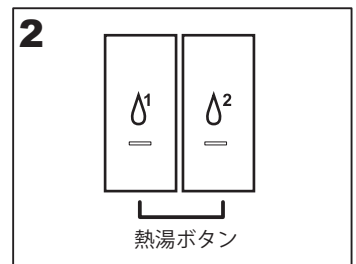
- 1 熱湯ノズルの下に容器を置いてください。

- 2 熱湯ボタンを押してください。

設定した量の熱湯が給湯され、自動的に停止します。

手動で止める場合はもう一度熱湯ボタンを押してください。給湯が止まります。

⚠ 注意 | 熱湯が勢いよく給湯されるのでお気をつけください。

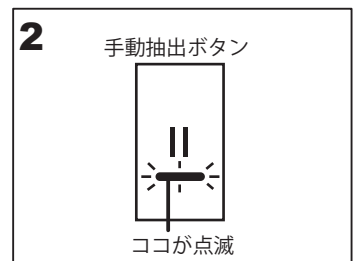


湯量の設定

- 1 熱湯ノズルの下に容器を置いてください。

- 2 手動抽出ボタンのランプが点滅するまで手動抽出ボタンを長押ししてください。

- 3 熱湯ボタンを押して給湯してください。熱湯が出続けるので、お好みの量に達したらもう一度熱湯ボタンを押して給湯を終了してください。
湯量の設定が完了します。



操作方法

蒸気の取り出し方法

1 スチームノズルをあらかじめドリフトレーに向けておいてください。

2 スチームノブを下方方向に押さえノズル内の水を出してください。

押さえっている間、熱湯が勢いよく飛び出しますのでご注意ください。

3 蒸気が出るようになれば、いったんスチームノブから手を離して、スチームノズルをミルクの入ったピッチャーに入れてください。

⚠ 注意 | ノズルは高温になるので金属部分は触らず、ゴム部分を触るようにしてください。

4 再度、スチームノブをゆっくりと下方方向に押さえてください。

使用後は、スチームノブから手を離し、ピッチャーをノズルから外してください。

連続してスチームを使用する場合は、スチームノブを上方向に上げるとノブが固定されてスチームが噴出し続けます。

やめる場合は下方方向に戻してください。

5 使用後はスチームノズルに付着したミルクを、清潔な布で拭き取ってください。

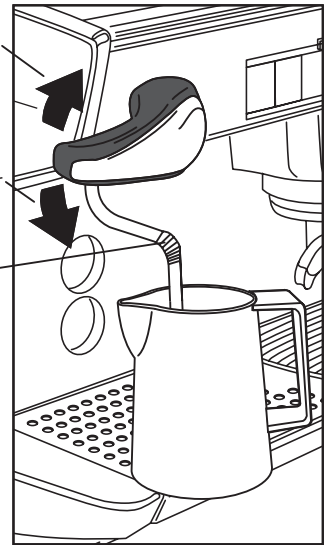
6 もう一度スチームノブを下方方向に押さえ、数回蒸気を出す動作を行ってください。

そのままにしておきますと、ノズル内に付着したミルクが固まり、不衛生ですし、ノズル内が詰まり、故障の原因になる事があります。

スチーム連続使用
(ノブ固定)

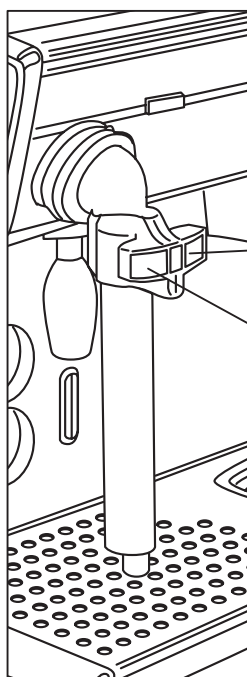
回している間だけ
スチーム噴射

ゴム部分



アイ・スチーム使用方法

※アイ・スチームはオプションで取り付ける事ができます。



スチームドミルク
スイッチ

フォームドミルク
スイッチ

1 ピッチャーにミルクを入れてください。

2 アイ・スチームノズルをミルクの入ったピッチャーにつけてください。

3 アイ・スチームのどちらか好みのスイッチを押してください。

センサーにより、決められた時間ピッチャー内のミルクを温めて自動的に止まります。

4 使用後は、ピッチャーに水を入れてスチームを行ってからピッチャーをノズルからはずしてスチームノズルを清潔な布で拭き取ってください。

バリスタ設定

- 1 電源の入った状態で、モニターに「LIGHTING」が出るまで左端の+ボタンを長押ししてください。



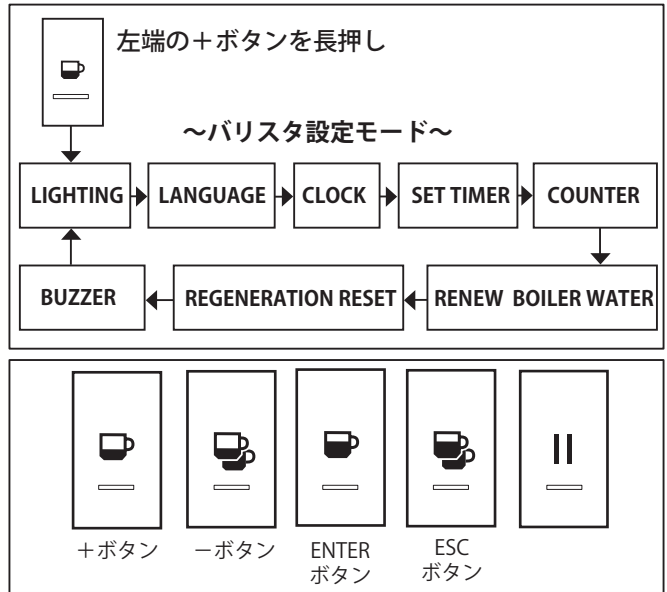
注意

+ボタン長押し中、湯が少し出るのでお気をつけください。

- 2 バリスタ設定モードに入ります。
+ボタン、-ボタンを使ってメニュー移動を行ってください。

- 3 変更したいメニューに合わせたら ENTER ボタンで決定してください。

- 4 一つ前の項目に戻りたい場合は ESC ボタンを押してください。



バリスタ設定モード

マシン照明の設定	LIGHTING	マシンの照明の ON/OFF を設定できます。	P8 参照
言語の設定	LANGUAGE	ディスプレイ上の言語を選択できます。	P9 参照
時刻設定	CLOCK	ディスプレイ上の時刻を設定できます。	P9 参照
タイマー設定	SET TIMER	設定した時間に自動で立ち上がるようにできます。	P9 参照
カウンター	COUNTER	各ボタンの使用回数がわかります。リセットする事もできます。	P10 参照
ボイラーの水の交換	RENEW BOILER WATER	ボイラーの水を交換できます。	P10 参照
水のカウントリセット	REGENERATION RESET	使用した水のカウントリセットできます。	P10 参照
ブザー	BUZZER	メニュー選択音の ON/OFF ができます。	P10 参照

マシン照明の設定

- 1 バリスタ設定モードの「LIGHTING」を選択して ENTER ボタンを押してください。
- 2 変更したい項目のところで ENTER ボタンを押してください。ON の表示が点滅します。
- 3 点滅している時に、+-ボタンを押して ON/OFF の選択したい方を表示させて ENTER ボタンを押してください。

Machine lighting

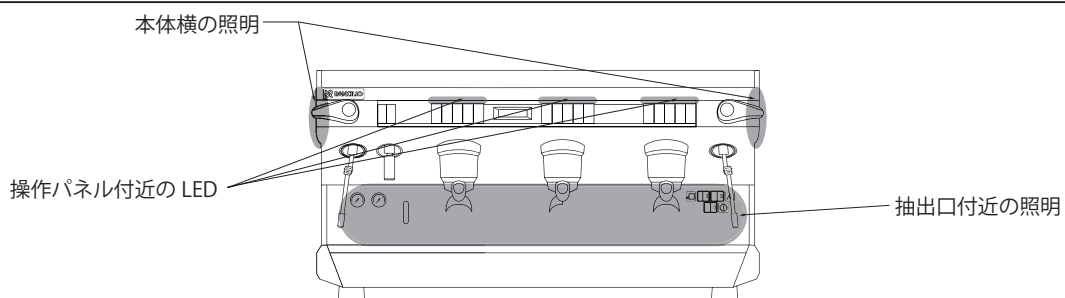
本体横の照明および、抽出口付近の照明
ON/OFF

Group RGB LED

操作パネル付近の LED
ON/OFF

RGB stand by

操作パネル付近の LED
スタンバイ時にグラデーション点灯
ON/OFF



プログラム

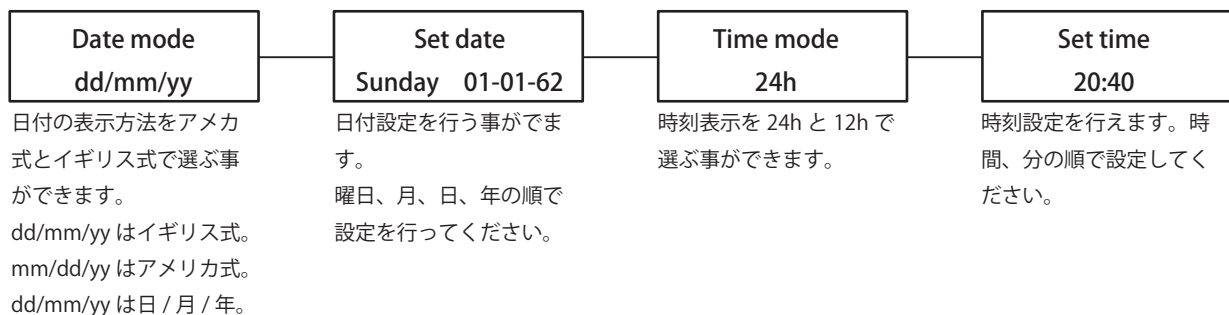
言語設定

- 1 バリスタ設定モードの「LANGUAGE」を選択して ENTER ボタンを押してください。
- 2 変更したい言語のところで ENTER ボタンを押してください。



時刻設定

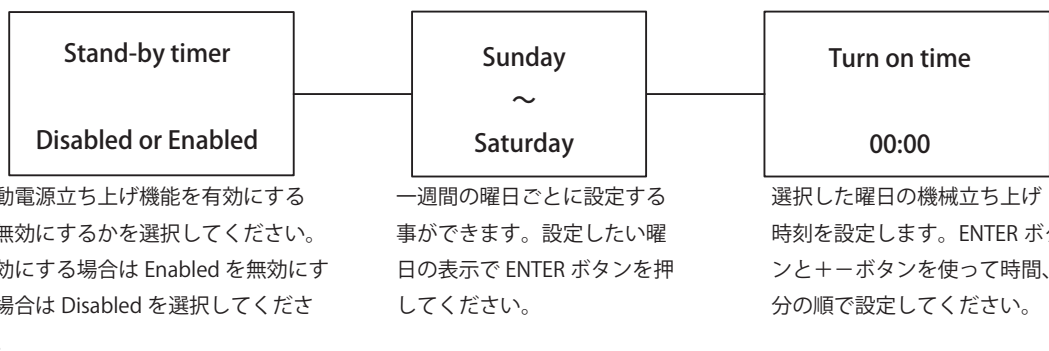
- 1 バリスタ設定モードの「CLOCK」を選択して ENTER ボタンを押してください。
- 2 設定を変更する項目を選択してください。



タイマー設定

- タイマー設定ではマシンがスリープ状態のときに設定した時間に自動で立ち上がるようにする設定ができます。
- 営業終了時にスリープモードにして明日の始業時間に自動で立ち上がるようにすることができます。

- 1 バリスタ設定モードの「SET TIMER」を選択して ENTER ボタンを押してください。
- 2 設定を変更する項目を選択してください。

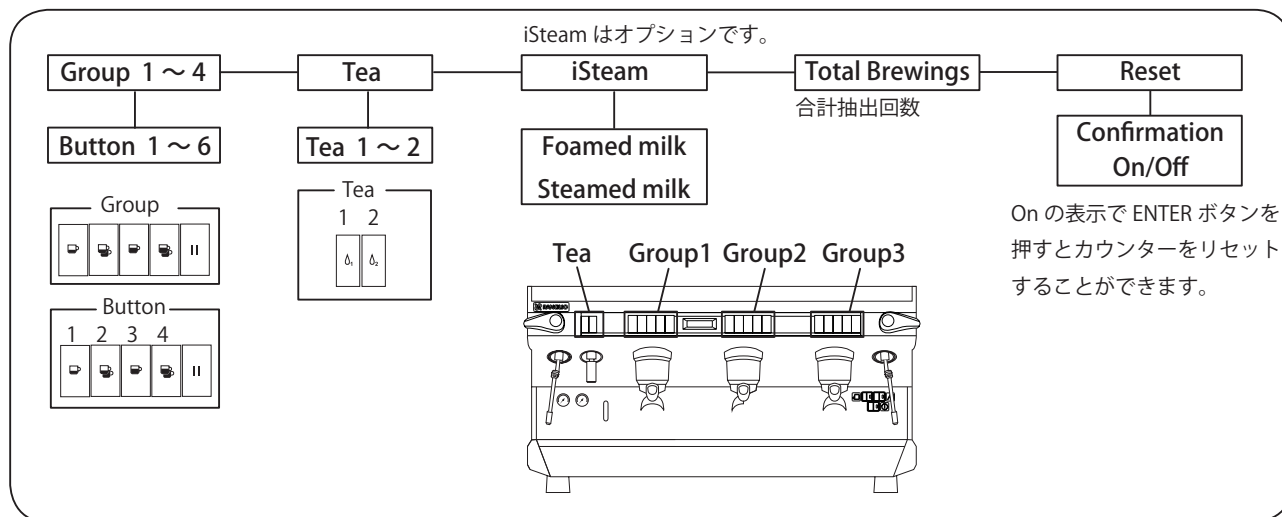


スリープモードにする方法

ディスプレイパネルの表示が消えるまで ESC ボタンを長押ししてください。
スリープ中は電源ボタンを切らないでください。自動で立ち上がらなくなります。

カウンター

- 1 バリスタ設定モードの「COUNTER」を選択して ENTER ボタンを押してください。
- 2 使用したボタンの使用回数を確認する事ができます。
確認したい項目を選択してください。



ボイラーの水の交換

- 1 バリスタ設定モードの「RENEW BOILER WATER」を選択して ENTER ボタンを押してください。
- 2 ボイラーの水を交換する場合は「Yes」を押してください。
熱湯ノズルから熱湯を出すことで排水が行われます。
水の交換作業は、20 ~ 25 分ほどかかります。

⚠ 注意 | ボイラーの水交換では熱湯が給湯ノズルから出るのでやけどにご注意ください。

途中で停止させる方法 | 左側のグループの「ESC ボタン」を 10 秒間長押ししてください。

水のカウンターリセット

- 1 バリスタ設定モードの「REGENERATION RESET」を選択して ENTER ボタンを押してください。
- 2 水のカウンターをリセットする場合は「Yes」を押してください。
使用した水のカウンタをリセットできます。

ブザー

- 1 バリスタ設定モードの「BUZZER」を選択して ENTER ボタンを押してください。
- 2 メニューの選択音をなくす場合は Off を、選択音を出す場合は On を選択して ENTER ボタンを押してください。

毎日の清掃

抽出装置の清掃（毎日の清掃）

- 1** クリーニング用カップをフィルターホルダーに取り付け
ティースプーン1杯（8g）専用の洗剤を入れてください。

専用の洗剤

セミオート用コーヒーライン洗浄剤

ESP-1500

885267

容量 750g

お求めはマシンご購入先にお問い合わせ下さい。

- 2** フィルターホルダーをすべての抽出装置に取り付け、ディスプレイに
“Coffee cleaning” の表示が出るまで ENTER ボタンを長押し（約7秒）して、
表示されたら All groups を選択してください。

Coffee cleaning

All groups

- 3** ディスプレイに “Insert blindfilter a. cleaner 〈ENTER〉” の表示が出ますので、
もう一度フィルターホルダーがしっかりはまっているか確認して ENTER ボ
タンを押してください。

オートクリーニングが始まります。

- 4** オートクリーニングが終わると、ディスプレイに “Remove blindfilter
Rinse 〈ENTER〉” という表示が出ますので、フィルターホルダーを外して、
ENTER ボタンを押してください。
すすぎ作業が始まります。

- 5** **注意** | すすぎ作業中は抽出装置から湯が出るのでお気をつけください。
すすぎ作業が終了すると “Insert blindfilter No cleaner 〈ENTER〉” と表示
されますので、洗剤を入れずフィルターホルダーを取り付け ENTER ボタ
ンを押してください。

- 6** すすぎ作業が終了すると “CLEANING ENDED Press 〈ESC〉” と表示されます
ので、ESC ボタンを押してください。

- 7** ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗浄してください。フィ
ルターホルダーの金属部、フィルター、クリーニング用カップをぬ
るま湯の入った容器に入れて洗浄してください。

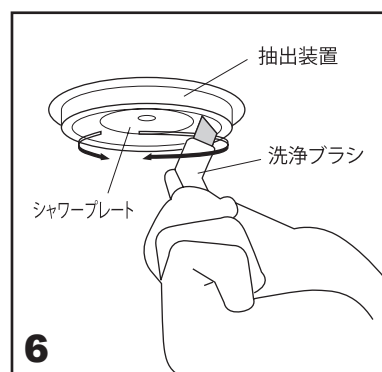
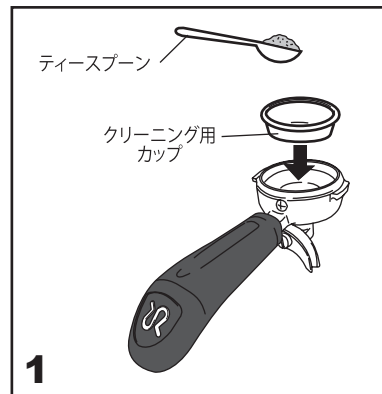
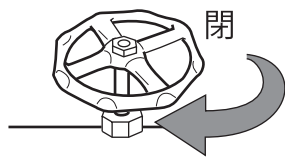
注意 | フィルターホルダーの持ち手部分はぬるま湯の容器に入れないでください。

終業時手順

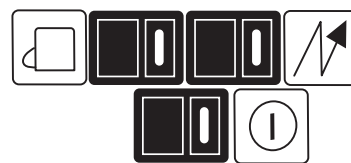
※終業時には必ず抽出装置の清掃（毎日の清掃）を行ってください。

- 1** 電源スイッチ、ボイラースイッチを OFF にしてください。

- 2** 水道の元栓を締めてください。



カップウォーマースイッチ ボイラースイッチ



電源スイッチ

洗浄方法

※アイ・スチームはオプションになります。

毎日の洗浄 アイスチームノズルの洗浄方法 洗浄時間：約10分

クリーニングには以下の準備が必要です。

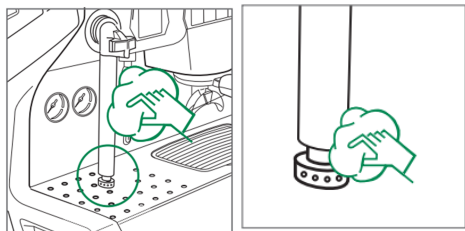
- ・ミルクライン洗浄剤
- ・コンテナやピッチャー
- ・布巾
- ・必要に応じてブラシなど



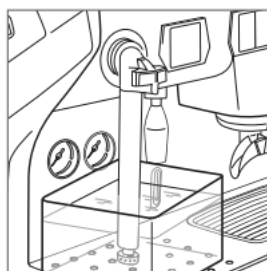
注意

洗浄は必ずコーヒーマシンが適温になっている状態から実施してください。適温になっていないと洗浄（クリーニング）を進めることができません。当社指定の洗浄剤をお使いください。

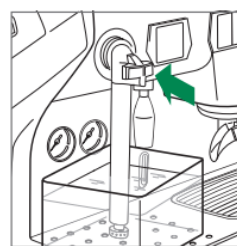
- 1** 固く絞った布巾で
スチームノズル先端を
拭いてください。



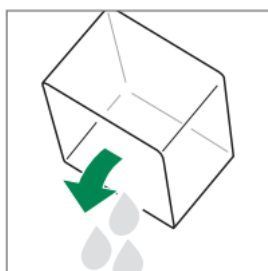
- 2** 約5cmの深さになるまでコンテナに
冷水を入れ、5%の濃度になるように
洗浄剤を注ぎます。
(例 冷水:400ml 洗浄剤:20ml)



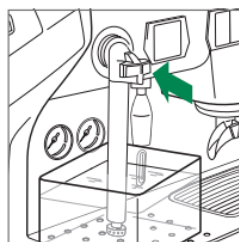
- 3** スチームをタップし約50℃で
停止させ、そのまま5分間漬け
込みます。



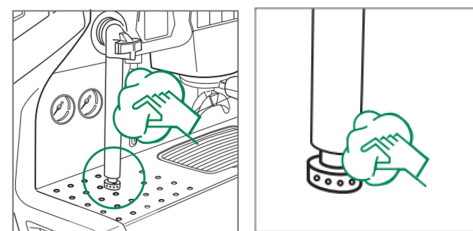
- 4** 洗浄液を捨て、コンテナを
十分にすすいでください。



- 5** きれいな水で浸して10秒間
スチームします。5回以上水を
入れ替えてスチームしてください。



- 6** 固く絞った布巾でスチームノズルを
拭いてスチームを空ぶかしをしてください。
先端の穴が汚れていた場合は
ブラシ等で清掃してください。



注意

スチーム使用に際しては、はじめにパイプ内に結露した水（湯）が出ますのでヤケドに注意してください。
スチームの使用・使用直後は、スチームパイプが高温になりますのでヤケドに注意してください。
規定時間以上の漬け込みや、十分すすぎ、水の入れ替えが出来ていないと薬剤が残ります。

	RANCILIO エスプレッソマシン
モデル	CLASSE9 USB 2G
外形寸法 (mm)	幅 750/ 奥行 540/ 高さ 523
重量 (乾燥重量)	66kg
電源：消費電力	単相 200V :3300W 20A

	RANCILIO エスプレッソマシン
モデル	CLASSE9 USB 3G
外形寸法 (mm)	幅 990/ 奥行 540/ 高さ 523
重量 (乾燥重量)	79kg
電源：消費電力	単相 200V :4550W 30A

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更される事がありますのでご了承ください。

Memo

Memo

安全上の注意事項

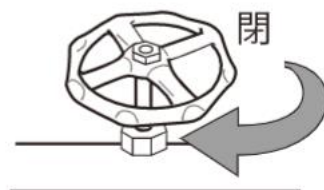
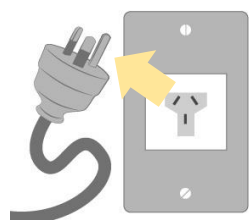
コーヒーマシンを安全にご使用いただくために営業終了後など長時間作業者がいない場合は必ず下記の作業の実施をお願い致します。

終業時の手順

1. マシンの電源をOFFにしてください

2. 電源プラグをコンセントから抜いてください

※電源コードをもって抜かないでください
濡れた手で電源プラグに触れないでください



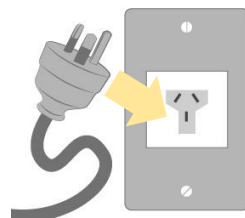
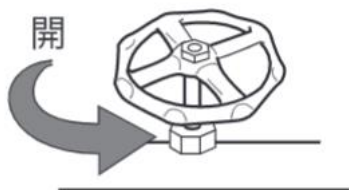
電源プラグは水がかからない場所で保管してください

始業時の手順

1. 止水弁を開けてください

2. 電源プラグをコンセントに差し込んでください

※濡れた手で電源プラグに触れないでください
電源はアース付きの専用のコンセントに取り付けてください



3. マシンの電源をONにしてください

製品保証書

型 式		機番	保証期間
お 客 様	お名前	様	お買上げ日より1年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 () —		* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 () —			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡してください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキーホームマシン 株式会社

本 社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

事業所については
こちらをご覧ください

